

外部評価書(施策)

評価基準

- ◎ 目標に向けおおむね順調に進捗している
- 目標に向け進捗しているが、さらなる取組が求められる
- △ 目標に向けた取組が不十分である

課題Ⅰ 男女共同参画意識の向上

施策	(1)男女共同参画意識の普及と向上
評価	○
意見	各施策において概ね目標指標を達成し、施策内容の有効性が確認できる。特に理工系チャレンジ等の取組は女性の理系進出のきっかけとなることから、就職先など今後の進路選択のときに、活かせるような社会づくりにつなげていただきたい。 また、数値目標を大きく達成した事業が2つあり、コロナ禍でインターネットなどを活用した新たな取組は評価できる。ただし、アンケートの目標指標を持っている事業については、コロナの影響を受けないようアンケートの取得方法の検討が必要である。 市職員への男女共同参画に関する取組として、庁内での意識普及について連携や働きかけができた件数が昨年より大幅に増加しているが、職員研修でのアンケート結果では十分に浸透しているとは言えず、どの分野に所属する職員も、男女共同参画は基本事項として常に認識しておくべき考え方であることを理解しておいていただきたい。
市の意見	

修正案

各施策において概ね目標指標を達成し、施策内容の有効性が確認できる。特に理工系チャレンジ等の取組は女性の理系進出のきっかけとなることから、就職先など今後の進路選択のときに、活かせるような社会づくりにつなげていただきたい。  
また、数値目標を大きく達成した事業が2つあり、コロナ禍でインターネットなどを活用した新たな取組は評価できる。ただし、アンケートの結果を目標指標(を持っている削除)にしている事業については、コロナの影響を受けないようアンケートの取得方法の検討が必要である。  
市職員への男女共同参画に関する取組として、庁内での意識普及について連携や働きかけができた件数が昨年より大幅に増加しているが、職員研修でのアンケート結果では十分に浸透しているとは言えず、どの分野に所属する職員も、男女共同参画は基本事項として常に認識しておくべき考え方であることを理解しておいていただきたいし、そう認識してもらえる研修にしていきたい。

課題Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画の推進

施策	(1)意思決定の場における男女共同参画
評価	○
意見	各施策において、概ね目標値を達成している。特に女性活躍推進研修の実施は評価でき、昨今、学校現場で女性の管理職の登用が多くみられる背景には、各種研修の開催等が実績として実り始めていると思われる。 全体的には、情報発信による啓発活動、審議会等委員への女性登用推進、意思決定の場や指導的立場への女性参画推進を着実に実行しているが、事業の評価判断が分かりにくい部分については、事業概要や実績(取組内容)の詳細をさらに具体的に記載することを検討していただきたい。 また、外部組織への働きかけには限界もあるが、自治会や企業等に対する取組方法を検討し、根気よく続けていただきたい。
市の意見	

各施策において、概ね目標値を達成している。特に女性活躍推進研修の実施は評価でき、昨今、学校現場で女性の管理職の登用が多くみられる背景には、各種研修の開催等が実績として実り始めていると思われる。  
全体的には、情報発信による啓発活動、審議会等委員への女性登用推進、意思決定の場や指導的立場への女性参画推進を着実に実行しているが、事業の評価判断が分かりにくい部分については、事業概要や実績(取組内容)の詳細をさらに具体的に記載することや目標指標の設定を検討していただきたい。  
また、外部組織への働きかけには限界もあるが、自治会や企業等に対する取組方法を検討し、根気よく続けていただきたい。

施策	(2)就労における男女共同参画
評価	○
意見	各施策においては概ね良好であり、特に子育て、保育場面等では好評価に値する点が多々ある。また、職員等への休暇制度等の周知や、女性職員が少ない消防職への取組、女性の自立・起業等への支援も積極的な取組ができている。 市役所男性職員の育児休業取得者数が大きく伸びていることも評価でき、育児に関わる経験が、今後の仕事やライフスタイルに有効になることを体験談を通して周知し、今後も、制度の充実や、上司、同僚の理解を得るための環境整備も引き続き努めていただきたい。 また、YouTubeを活用しての情報発信は評価できるため、今後はアップロードの頻度を上げる取組を進めていただきたい。 女性の活躍推進及び両立支援制度の推進について、取組に対する実績は概ね達成しているが、今後民間における実態を把握することも検討を進め、経済団体と連携し男女格差の解消に取り組んでいただきたい。また、農業分野へも引き続き取り組んでいただきたい。
市の意見	

各施策の取組(において削除)は概ね良好である。(り、特に子育て、保育場面等では好評価に値する点が多々ある。また、削除)職員等への休暇制度等の周知や、女性職員が少ない消防職への取組、女性の自立・起業等への支援等(も削除)積極的な取組ができているが、目標指標がない取組が多く、評価基準がわかりにくい。  
市役所男性職員の育児休業取得者数が大きく伸びていることも評価でき、育児に関わる経験が、今後の仕事やライフスタイルに有効になることを体験談を通して周知し、今後も、制度の充実や、上司、同僚の理解を得るための環境整備も引き続き努めていただきたい。  
また、YouTubeを活用しての情報発信は評価できるため、今後はアップロードの頻度を上げる取組を進めていただきたい。  
女性の活躍推進及び両立支援制度の推進について、取組に対する実績は概ね達成しているが、今後民間における実態を把握することも検討を進め、経済団体と連携し男女格差の解消に取り組んでいただきたい。また、農業分野へも引き続き取り組んでいただきたい。

施策	(3)地域における男女共同参画
評価	◎
評価の理由	コロナ禍にも関わらず開催方法を工夫し研修会や防災訓練等を実施できたことは評価できる。女性主体の防災研修を7回実施したことや女性消防団員が取り組む各種内容の実績が上昇しており、地域づくり協議会への啓発活動、地域での防災に関する活動などについては、順調に男女共同参画の取組が推進できている。特に、女性団員の「女性の持つソフトな面」を活かしての活躍は大変評価できる。 防災分野の女性参画は非常に重要なことであり、地域住民一人ひとりの防災意識の向上だけでなく、地域活動全体への男女共同参画意識の向上に繋がるものだと思うため、他分野にも拡げていただきたい。
市の意見	

なし

施 策	(4)家庭における男女共同参画
評 価	○
意 見	概ね目標指標を達成しており、子育て、家事全般、介護等の主に女性が担うものとされていた分野に男性の参画を促すための取組がなされていることは評価できる。特に、小中学校の段階からの男女共同参画社会に関する啓発は評価できる。 ただし、コロナの影響で実施できなかった事業については、今後何かしらの形で実施していただきたい。
市の意見	

概ね目標指標を達成しており、子育て、家事全般、介護等の主に女性が担うものとされていた分野に男性の参画を促すための取組がなされていることは評価できる。特に、小中学校の段階からの男女共同参画社会に関する啓発は評価できる。  
ただし、コロナの影響で実施できなかった事業については、「実施できなかった」で終わらせるのではなく、今後何かしらの形で実施していただきたい。

施 策	(5)教育における男女共同参画
評 価	○
意 見	自己評価が低い事業もあるが、コロナの影響での評価であり、全体としては、概ね達成している。さらなる取組が必要なものとして、スマートフォンやインターネットの使い方及び園児と小学生との交流活動があげられる。小学校と保育園等の距離など物理的に困難な場合には、他の方法での実施の検討をしていただきたい。 教職員を対象とした研修会が多く開催されていることは評価できる。ジェンダー平等の意識を育むには、幼少期からの取組が大切であるため、継続して実行していただきたい。
市の意見	

なし

### 課題Ⅲ ジェンダーの視点に立った人権尊重と性差に応じた健康支援

施 策	(1)自尊感情と人権意識の向上
評 価	○
意 見	人権に関して問題を抱える方々が、直接相談できる環境づくりは重要である。併せて人権意識の向上に寄与する施策も着実に実行しており、女性のSOSハンドブック、相談案内チラシ、リーフレット、啓発手帳などによる啓発が大変評価できる。 相談事業に関しては、順調に推移しているが、相談の中の小さな問題も見落とすことなく支援に繋がられるよう、庁内の連携はもとより、外部関係機関との連携を強化し、対応に努めていただきたい。
市の意見	

なし

施 策	(2)生涯にわたる心身の健康に関する啓発
評 価	◎
意 見	概ね目標指標を達成している。心身の健康は全ての行動の基となることから、事業の継続と、庁内の連携した取組を期待する。性に関する正しい知識の普及、妊婦体験ジャケット着用体験など具体性のある取組を今後も強化することで、一層の認識が高まるものと考えられる。 また、LGBTや性の多様性の他、様々な悩みに対応できる相談窓口をまとめた女性のSOSハンドブックの全戸配布や、生理用ナプキンの無料配布は大変評価できる。
市の意見	

なし